

飯を食べる為だけに生きていても・・・

作者： NAO

2012年 7月 04日(水曜日) 00:25 -

---

こんばんは★

さて、 [NAO](#) さんブログの続きを書かせて頂きます。

私は養父（2人目）と離縁し、  
行く場所もなく途方にくれていた・・・

私はあまり人との交流を積極的には  
持たないほうでしたので、  
こんなときに本音で話せる仲間は  
近くにはいませんでした。。。

寂しいですよ・・・

自分の居場所がないって  
こんなに寂しいのか・・・

このときの私は、本音でしゃべれる仲間居ませんでした、  
こんな私に頼ってくれる後輩が結構多くいました。

ん、、、昔から私は強い人間だ！

というイメージが強かったのでしょうか。

だから、後輩はよく私を頼ってくれましたよ。

でも、このときの私には人を救う力なんて全くなかった。

飯を食べる為だけに生きていても・・・

作者： NAO

2012年 7月 04日(水曜日) 00:25 -

---

恥ずかしいけど私は、1人の後輩1人に  
今までの簡単な経緯を話し、  
その後輩の家に寝泊りさせてもらうことになったのです。

それから私は、

飯を食べる為だけに  
以前に知り合った人たちからたくさんの情報を集め、  
集まった情報をお金に変える仕組みを考え、  
会員制のネットワークを作り出しました。

ひたすらなれないパソコンで情報収集と情報配信を行った。

寝る暇はなかったが  
会員数も順調に10,000人を超え、  
多くの会員たちがマッチングすることで得られる手数料と、  
一部の有料会員による会費で安定した収益を上げることができるようになった。

金銭的にはだんだん楽にはなっていくが、  
私の心は満たされることはなかった・・・

その理由は、  
今私は、毎日

ただ単に、食べていくためだけ

に生きているからだ。

飯を食べる為だけに生きていても・・・

作者： NAO

2012年 7月 04日(水曜日) 00:25 -

---

何にも希望や目標がない。

ただ、今を生きるためにだけに毎日を送るしかなかった。

私の心は  
自分は何のために生まれてきたのだろうか。

なぜ、こんな人生を歩んでしまったのか。

何故、こんなに自分だけが苦労するのだろうか。

何故・・・

といつも答えのない“何故”に縛られていた。

心から笑うことも忘れていたし、  
心から誰かを信じようとしなかった。

生まれてこなければよかったといつも心で思っていた。

いつ死んでもよいと思っていた。

自分自身が消えてなくなればよいと思っていた。

飯を食べる為だけに生きていても・・・

作者： NAO

2012年 7月 04日(水曜日) 00:25 -

---

人が羨ましく、通り過ぎる人たちが憎い、  
社会が悪いといつも心に抱いていた。

そんなある日・・・

自分の居場所

皆さんはどこですか？？

会社に行っても  
家に帰っても  
自分らしく居られる場所がない。

誰かに気を使って、  
周りの目を気にして、  
本音でしゃべることもできずに・・・

自分の本当の居場所、  
安らげる居場所はどこですか！？